

【団体の沿革】

昭和 3 年 11 月 3 日	設立
昭和 3 年 11 月 5 日	財団法人として認可 事務局を県教育員会体育保健課に設置
昭和 23 年 9 月 23 日	第1回富山県民体育大会 開催
昭和 24 年 1 月	第1回富山県民体育大会 冬季大会開催
昭和 33 年	第13回国民体育大会 開催
昭和 39 年 4 月	富山県スポーツ少年団設立
昭和 41 年 9 月	青井忠治氏の寄附を基に、アオイスportsハウスを建設
昭和 42 年 4 月 16 日	アオイスSportsハウス竣工 事務局を県教育委員会体育保健課より移転
昭和 47 年 4 月 27 日	県営体育施設管理委託業務に伴い専務理事体制
昭和 51 年	山野スポーツセンター建設
昭和 59 年 4 月 1 日	置県100周年記念事業として富山県総合体育センター建設
平成 3 年 11 月 30 日	第55回国民体育大会への選手強化推進のため専務理事2名体制
平成 11 年 4 月 1 日	県営体育施設の管理運営体制の統合再編 8施設を管理受託 〔 富山県西部体育センター、富山県高岡総合プール、県営富山武道館、県営富山弓道場 富山県漕艇場、富山県上市カヌー競技場、富山県少年サッカー場、山野運動広場 〕
平成 12 年 10 月 14 日	第55回国民体育大会開催
平成 13 年 5 月 29 日	事務局組織を2部4課制に拡充 理事長制
平成 17 年 9 月 22 日	日本スポーツマスターズ2005富山大会開催
平成 18 年 4 月 1 日	指定管理者制度の導入 〔 富山県西部体育センター、富山県高岡総合プール、県営富山弓道場、富山県漕艇場 富山県上市カヌー競技場の県営5施設及び砺波市温水プールの市営1施設 〕
平成 21 年 4 月 1 日	指定管理者制度(2期目) 〔 富山県西部体育センター、富山県高岡総合プール、県営富山弓道場、富山県漕艇場 富山県上市カヌー競技場の県営5施設及び砺波市温水プールの市営1施設 〕
平成 22 年 3 月 30 日	事務局組織を2部4課制から2部3課制 専務理事2名から1名とし新たに常務理事1名新設
平成 22 年 10 月 16 日	第32回全国スポーツ・レクリエーション祭開催
平成 23 年 4 月 1 日	富山県総合体育センターへ事務局を移動 当センターの指定管理
平成 24 年 4 月 1 日	公益法人化に伴い「公益財団法人富山県体育協会」と名称変更 代表理事を知事から教育長
平成 25 年 4 月 1 日	指定管理者制度(3期目) 〔 富山県総合体育センター、富山県西部体育センター、富山県高岡総合プール 県営富山弓道場、富山県漕艇場、富山県上市カヌー競技場の県営6施設 〕
平成 26 年 3 月 31 日	砺波市温水プールの指定管理終了
平成 27 年 4 月 1 日	富山県のスポーツ行政分野の組織改編 県主管課が教育委員会から知事政策局 副理事長を新設し代表理事2名体制
平成 28 年 6 月 23 日	富山県エアロビック連盟、富山県スポーツチャンバラ協会が加盟 68団体となる

平成 30 年 4 月 1 日 指定管理者制度(4期目)

富山県総合体育センター、富山県西部体育センター、富山県高岡総合プール
県営富山弓道場、富山県漕艇場、富山県上市カヌー競技場の県営6施設

平成 30 年 6 月 4 日 富山県ビリヤード協会が加盟 69団体となる

令和 2 年 6 月 25 日 富山県武術太極拳連盟が加盟 70団体となる

令和 4 年 4 月 1 日 富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が組織内組織となり 加盟団体は69団体となる

令和 5 年 4 月 1 日 公益財団法人富山県スポーツ協会へ名称変更

代表理事(理事長)を教育長から生活環境文化部長
代表理事(副理事長)を生活環境文化部次長から教育委員会次長

指定管理者制度(5期目)

富山県総合体育センター、富山県西部体育センター、富山県高岡総合プール
県営富山弓道場、富山県漕艇場、富山県上市カヌー競技場の県営6施設